

大学生の労働に関する知識・権利の行使の現状と課題解決への提案

受入先：社会保険労務士・行政書士 山崎事務所

鹿児島大学法文学部法経社会学科3年 財間美羽
鹿児島大学法文学部人文学科3年 坂ノ上芽以

○受け入れ先からの課題

大学生がアルバイトをする中で、労働に関する基礎的な知識があるのかを分析し、その中での問題点と解決策を明らかにする。

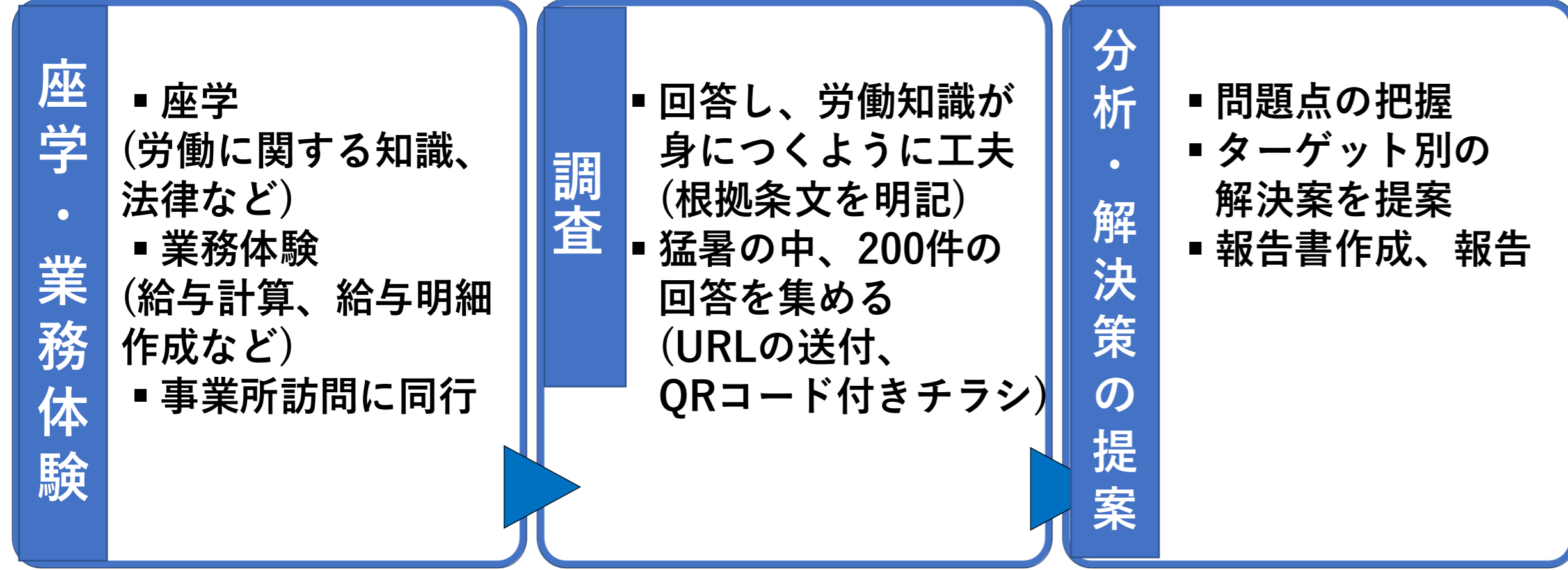
○調査の背景・目的と内容

山崎事務所では、労働・社会保険に関する諸問題や年金の相談などの業務を行っており（国家資格）、大学生が労働者としての権利を行使できていないと思われる場面が見られる。

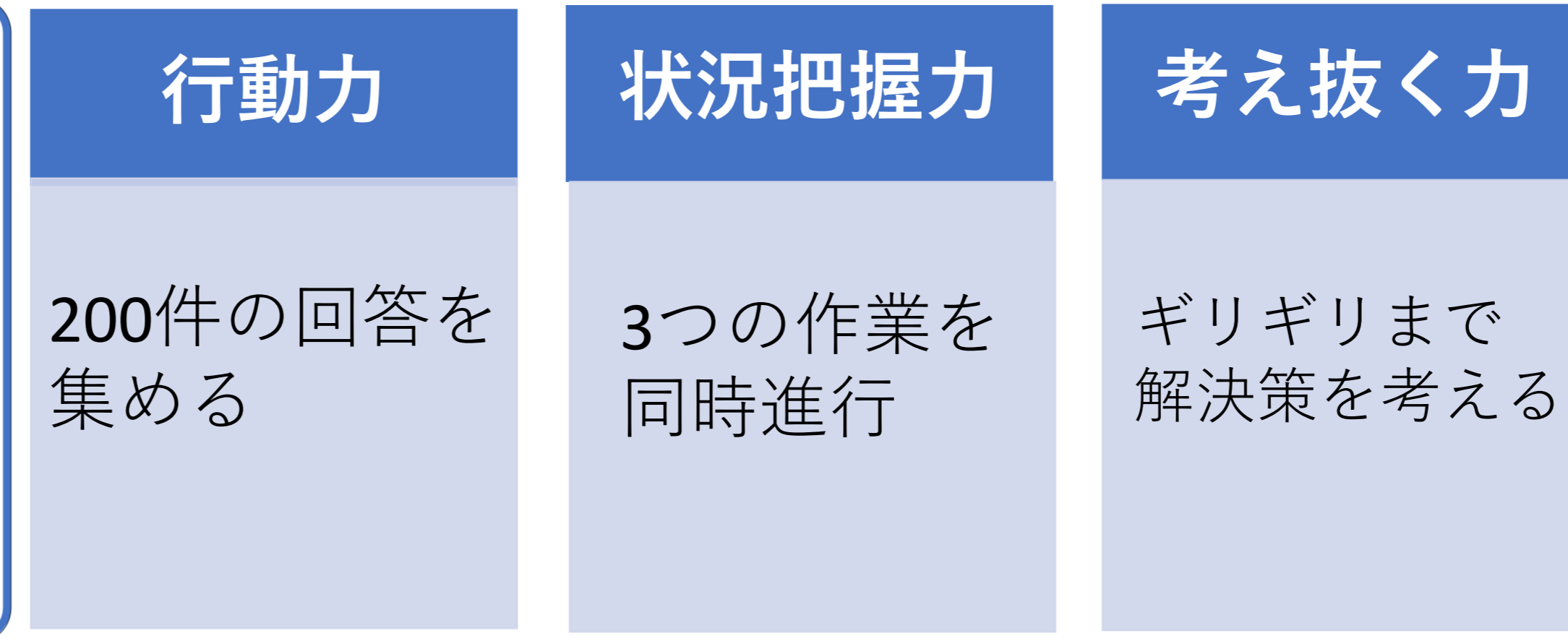
→①大学生が労働に関する基礎的な知識をどの程度知っているのか ②労働者としての権利を正しく行使できているのか

これらを明らかにし、それに対する解決策を提案することを目的としてアンケート調査を行った。

○インターンシップ実習内容



○成長したこと



○アンケート概要

- 1) 実施方法 Googleフォーム
- 2) 実施期間 2021/8/28～2021/9/3
- 3) 対象者 鹿児島大学の学生 (回答総数...200件)

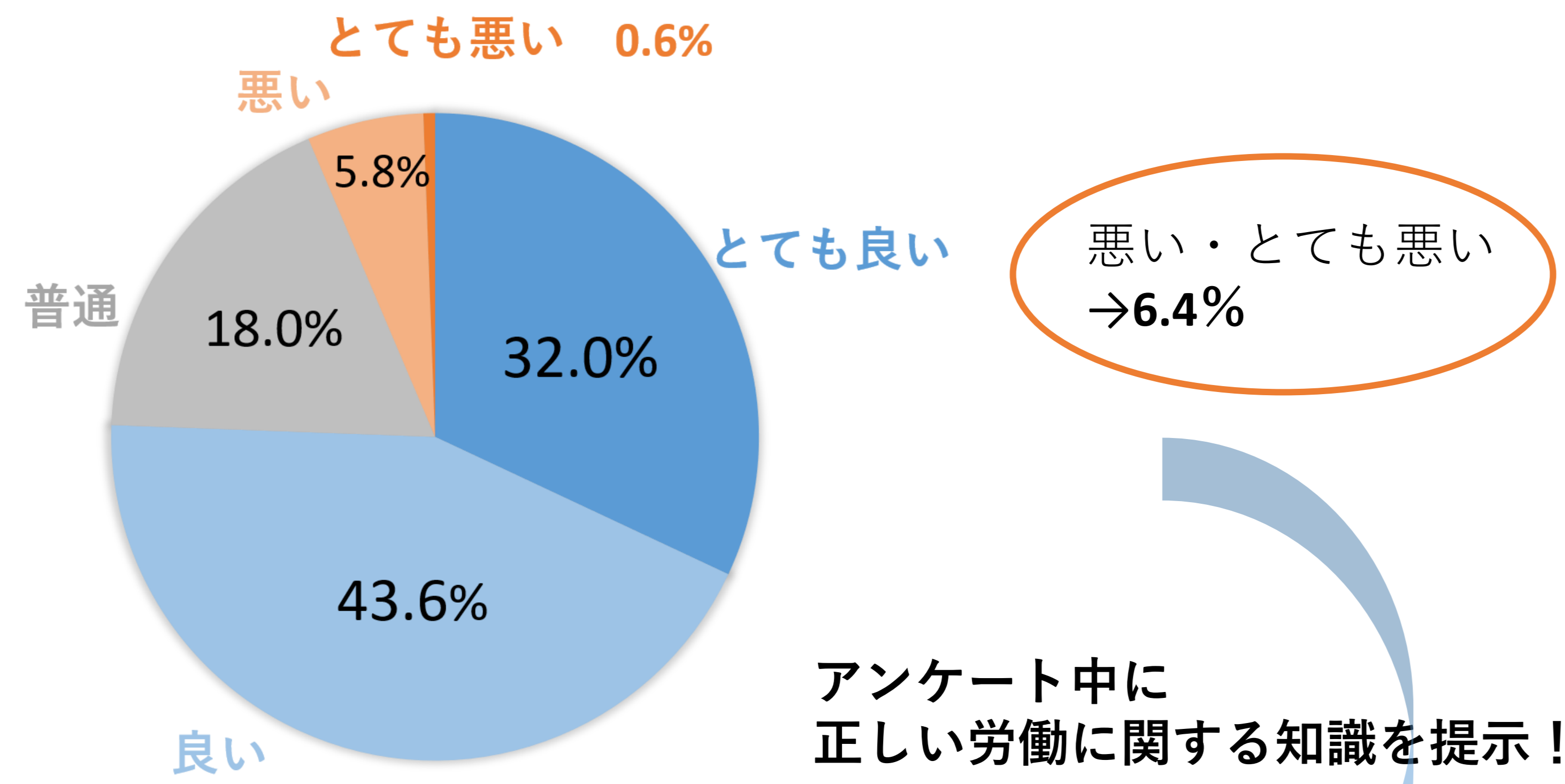
★詳細な資料はこちら



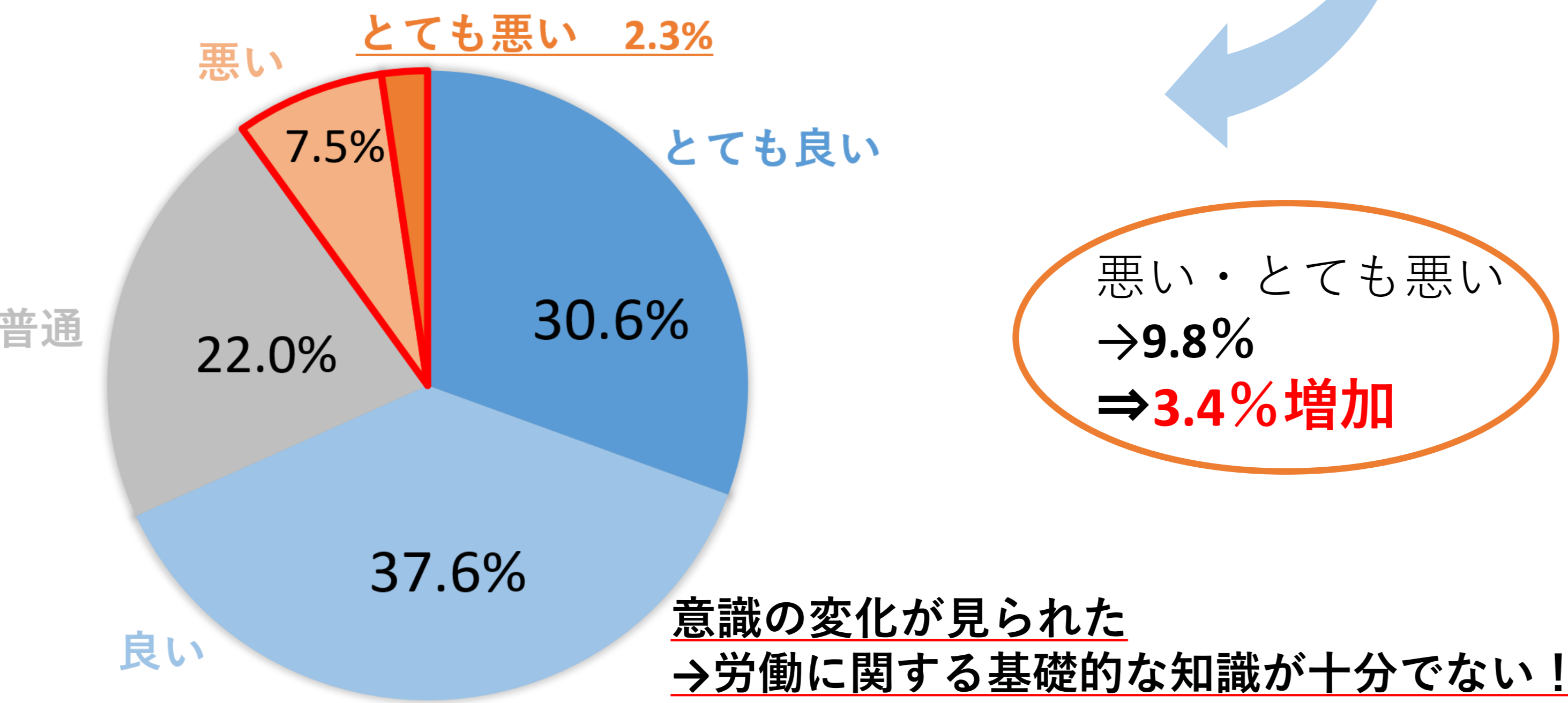
①大学生が労働に関する基礎的な知識をどの程度知っているのか

→労働に関する基礎的な知識に基づく労働環境の評価の変化を調査

①-1. アルバイト先の労働環境の評価



①-2. アルバイト先の労働環境の再評価



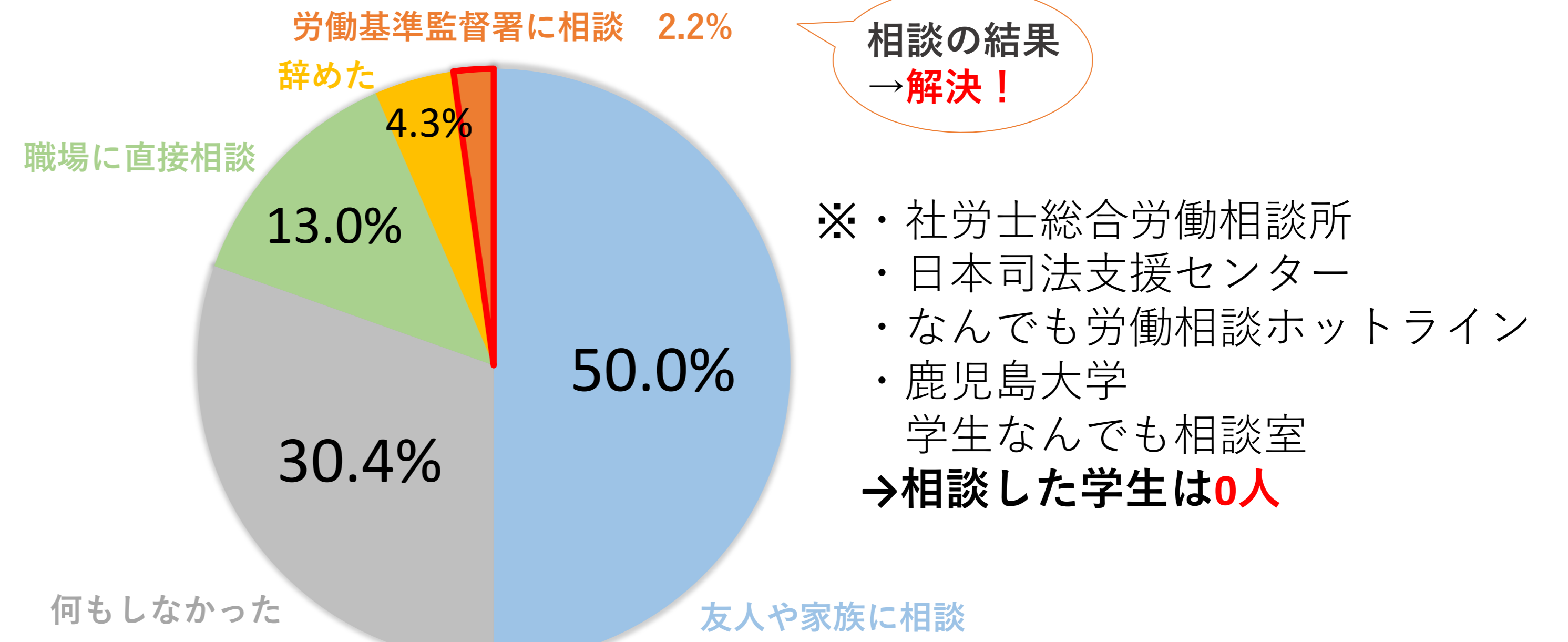
②労働者としての権利を正しく行使できているのか

→権利を正しく行使できておらず、不利益を被っていないか調査

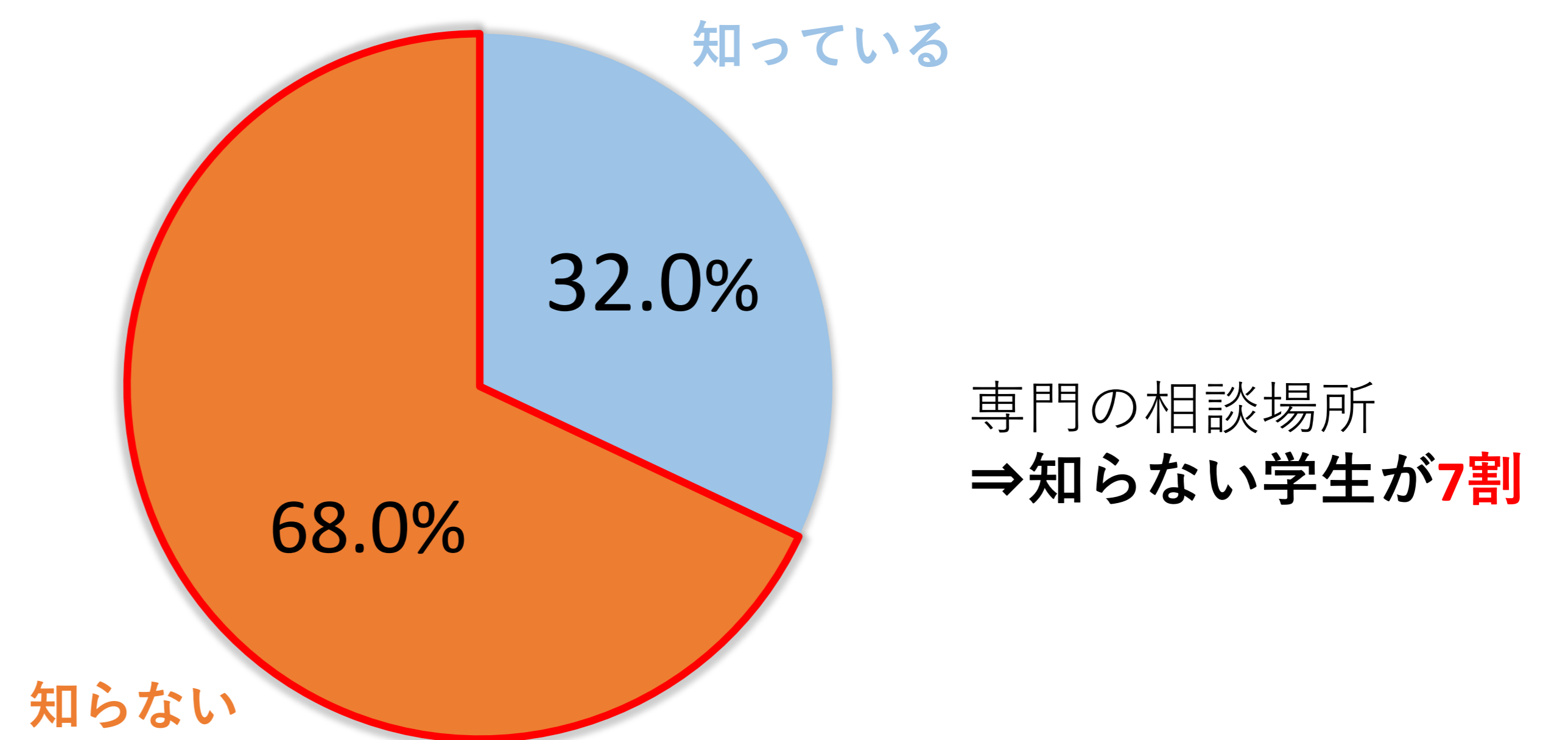
②-1. トラブル経験の有無

ある・・・22.7% (39人) ない・・・77.3% (133人)

②-2. トラブルへの対応



②-3. 相談場所について知っているか否か



○アンケート結果のまとめ・考察

①労働に関する基礎的な知識が十分でない学生が多い。 ②トラブルに見舞われた際の相談場所について知らない学生が多い。

労働に関する知識・相談場所についての認知度が低く、トラブルをトラブルと捉えていない可能性がある。 →労働に関する知識・相談場所の情報提供を行う必要がある。

課題解決案

ポイント：労働者向け・企業向け・双方のターゲット別の解決策を提案

独自の調査の結果、大学生でも労働環境への意識が低いことが分かった。

→調べると、国際的にも解決すべき課題として挙げられていた。

⇒身近なところから、労働について考える機会を作りたい!!!

・学生と企業とで労働問題について考えるワークショップの開催（双方向向け）

→テーマ：SDGs（8：働きがいも経済成長も）、ディーセント・ワーク、働き方改革、女性の働き方、過労死など

ポイント：（企業）学生を知る機会になる （学生）企業の労働環境への考え方を知ることができる

・ポスターやSNSを利用し、労働に関する知識・相談場所の周知（労働者向け）

・高校生や大学1年生へ出前授業（労働者向け）

・雇用側ヘテスト（労働に関する知識）を実施し、合格基準を満たせば求人広告を安価で掲載（企業向け）

○今後の課題

・実際にトラブルをトラブルとして認識できていない事例があるのか、詳細な調査を行うことができなかった。

→トラブル経験がないと答えた人にさらに話を聞く必要がある。

・アルバイト先の労働環境の評価には、職場の人間関係が大きな判断材料となった可能性もある。

→職場の人間関係についても質問する必要がある。

